

國寶になつた 姫路の白鷺城



は小寺氏であつた、忠臣衣笠元
信にお菊といふ美人があつた。
衣笠あくらき山^{やま}の家^{いえ}黄^{きう}

です、秀吉の建てた白鷺城は汽車から見へます、高等學校、中學、師範商業、女學校あり、小學校は八校ありて運動は野球が一ぱん旺んであります私も選手の一人です

皆さんよりの便りを楽しみにまつてあります、さよなら

ロシヤの少年を 助けた日本兵士

本當にあつた話です

A black and white photograph of a traditional Japanese castle, likely the Honmaru (inner castle) of Nagoya Castle. The castle features multiple layers of intricate tiled roofs with decorative ridges. It is nestled among dense trees and foliage, with a smaller building visible in the foreground on the left. The image has a grainy, historical quality.

閣主天く輝てへ映に旭 箱聖白き如がく浮に空中 日もためこ立の霧朝

「一體どうしたのだ」と譯を聞いてみると、こんな譯です。
東支鐵道の事から支那とロシアとの間に争ひが起つて、そのときは添へを食つてこの少年ホノロフの父母は、大勢の白系ロシア人と一緒に南満洲に逃げました。残されたホノロフは母親が奉天にゐるとして聞いて懷しさのあまり母を尋ねてチタからハルビンまでは汽車で來たが、其處から金線路を傳はつて歩いて來たといふ事が判りました。
おぢさん、日本の兵隊さん、此處から奉天まではどの位ありますか』ホロノフは尋ねました
『奉天まで、そりア大變だ、歩いて行くのか?』

「一圓安い、もつと高く買ふよろしい」
「一圓五錢買ふ」
「一圓五錢？足りるかなア」
すると藤澤上等兵が、あとは俺が出すと云つて着て居たシャツを抜いで賣りました。そしてホロノフに奉天までのキップとバントやソーネージを買ってやり、二人で驛まで見送りました、ホロノフは汽車の窓から顔を出して、両手にバンとソーネージを持つたまゝ嬉しさ涙をボロボロと流すのでした。
それから一週間の後でした、それはホロノフの兩親からの感謝状でお禮を書いた後で「日本の世界中で一番なさけ深い兵隊さんよろしく」とありました

姫路城は、全廊が白く塗られて、恰も白鷺が半空に飛ぶが如き姿に見えるので、一名白鷺城と呼ばれてゐるが、此城は建築の様式、外觀の美共に日本一の模範城で、諸般の保存設備がよく整つてゐるので、城の組織が今日に於ても完璧である。

城は平地に築いたものだが天守閣は小高い丘にある、つまり山城と平城との間になる平山城で足利の末赤松貞範が姫山に築城したのが始だと傳へられてゐるが、又小寺頼秀が築いたとも云はれ、起源は明ではない。白鷺城の天守閣は秀吉によつて三重に作られたが後に池田輝政が五層に増築したのである。

城には一つの哀史がある、お菊井戸の由來がそれで、時の城主

姫路城は、維新後第十師團の兵實に指定された、滿州の戰場で十師團の一部が朝鮮旅團と交戦した際、皆さまは祖國の櫻や宝山を大へんなつかしんでるねえよと申す四行する六萬程の人口を有する

本當にあつた話です

正月音楽俱年幼 ケマオツヒ

悲此

大自然の暴虐下

今や同胞飢

惨

二人の娘を身賣

病床に餓死を待つ老翁

南瓜の常食から

黄くなる顔

青森縣脇之村大字磯松今才助

(五六)方では二人娘を東京奉公に出したと云つて居るのに役場に二通の身許照会状が來たの

で二人其娘が賣られたことが分

つた、同家は其暮しの小作人であるが因みに見れば馬力かけ出

て、利にさることなく糧を得た

が、今は其の道も絶へ猛烈な吹雪の中に飢へと寒さに懼きつゝ名状すべからざる慘状にある

あるが、今や白い日々の地方を埋めた、降雪前は蕨の根堀等下幸くも糧を得た

が、今は其の道も絶へ猛烈な吹雪の中に飢へと寒さに懼きつゝ名状すべからざる慘状にある

あるが、今や白い日々の地方を埋めた、降雪前は蕨の根堀等下幸くも糧を得た

が、今は其の道も絶へ猛烈な吹雪の中に飢へと寒さに懼きつゝ名状すべからざる慘状にある

あるが、今や白い日々の地方を埋めた、降雪前は蕨の根堀等下幸くも糧を得た

が、今は其の道も絶へ猛烈な吹雪の中に飢へと寒さに懼きつゝ名状すべからざる慘状にある

あるが、今や白い日々の地方を埋めた、降雪前は蕨の根堀等下幸くも糧を得た

が、今は其の道も絶へ猛烈な吹雪の中に飢へと寒さに懼きつゝ名状すべからざる慘状にある

あるが、今や白い日々の地方を埋めた、降雪前は蕨の根堀等下幸くも糧を得た

が、今は其の道も絶へ猛烈な吹雪の中に飢へと寒さに懼きつゝ名状すべからざる慘状にある

あるが、今や白い日々の地方を埋めた、降雪前は蕨の根堀等下幸くも糧を得た

が、今は其の道も絶へ猛烈な吹雪の中に飢へと寒さに懼きつゝ名状すべからざる慘状にある

金鑄業者の間でこの好機會にうんと金を出し一儲けせんも合團體たる水曜會並びに三井津本野金山、大分飼生金山等の各方面では金増産方法について積極的計畫が始められて來た、金

紙幣が兎に角瞬く間に二割以上の値下りを見せた上に十億餘の金準備が四億臺の現金で、更に今後も輸入超過で専用船出

下げ續かずいふ豫想の下では「金地金様」の世の中である、茲で馬力かけ出された金鑄業者が、茲で馬力かけ出された金鑄業者が、國内の大通貨の金鑄出

はさすがに當然のことであらう、國內の金鑄業者が、茲で馬力かけ出された金鑄業者が、國内の大通貨の金鑄出

はさすがに當然のことであらう、國內の金鑄出

北海道で

住友が近く探掘

北見國住友鑄業鴻之舞金山の西

年來有望な金山として探査中

あつたが、今回鴻の舞以上の鎮量を有する優良鐵區を發見した

量を有する優良鐵區を發見した如きは、さきに三日間の積出しを拒絶した更に延長し廿日日夜積出しを始めた所が、當日夜に見付かれた所は絶好の賣場を見て頗る興奮して居る農家側はその出現を待てずに寧ろ競ら戻した所は絶好の賣場を見て頗る興奮して居る農家側はその出現を待てずに寧ろ

年來有望な金山として探査中

あつたが、今回鴻の舞以上の鎮量を有する優良鐵區を發見した如きは、さきに三日間の積出しを拒絶した更に延長し廿日日夜積出しを始めた所が、當日夜に見付かれた所は絶好の賣場を見て頗る興奮して居る農家側はその出現を待てずに寧ろ競ら戻した所は絶好の賣場を見て頗る興奮して居る農家側はその出現を待てずに寧ろ

繁榮に憧憬れて横濱出帆の同船内に忍耐密航を企てたものだが、太平洋の眞ん中で用意の食糧も盡き果て置つて、實現せしめるぞ狂奔しつゝ所を發見され再び太平洋往復して連れ戻されて來たものである

空前の米山

全市に二百萬俵

稻穀の強度反映

繁榮に憧憬れて横濱出帆の同船内に忍耐密航を企てたものだが、太平洋の眞ん中で用意の食糧も盡き果て置つて、實現せしめるぞ狂奔しつゝ所を發見され再び太平洋往復して連れ戻されて來たものである

最新式型洋服

町摩で期限確實

聖市コンデ街四三番

(久保商店内)

レジストロ支店

宮崎徳松

江村小次郎

(成功館内)

石井洋服店

サントス支店

喜知君

リムジン・メテス

アントニオ・シナ

ラウル・ペニ

アントニオ・シナ

アントニオ・シナ

アントニオ・シナ

アントニオ・シナ

アントニオ・シナ

アントニオ・シナ

アントニオ・シナ

アントニオ・シナ

アントニオ・シナ

此廣告を切抜き御持參の方に限り一回無料試療する

(二月廿九日迄)

諸電波應用

日本理學療法醫

聖市コンデビニヤール五

大村熊之允

江村小次郎

石井洋服店

喜知君

アントニオ・シナ

アントニオ・シナ

アントニオ・シナ

故村集諸集

金の肥前國唐津では八萬三千石である。大久保家が小田原へ二度目に赴任したのは、今いつた加賀守忠職の養嗣子忠朝の時代である。勝馬は謹慎の日も夜も長い間に苦惱した。つれぐであるが爲に、さまゝなる考へが、それからそれへと浮んでこすにはあられなかつた。

『元助を殺さねばなるまい、五郎兵衛』元助と父兄名を討てば、それで俺の懲りを踏み崩した男を、この世から追ひ拂つて怨みを全く報じ終へるのだ、酒出の家には元助の外に男子はない——おゝこれは好い事を思ひ、いた——それから俺は永女に討たれてやう、討たれてやるにしても、たゞは討れてやるまいとしてまたあの女も、やがて死ぬ位に斬つて置かずばなるまい、かう考へて決めてしまつた。来る日も来る日も、この考へを繰り返して、無聊に耐へられた——その日は夕ぐれまで、例の赤い日月は勝馬が監禁された十六日からまだ引續いて、凄じい赤さを見せてゐたが、二十一日の日の出の色から、また元の清々しい神威の光りを放ちはじめた。その日は夕ぐれまで江戸の諸人は天を仰いで、大そうな喜びだつたといふ事を、番の足輕から勝馬は聞いて知つたしかしその外の事は殆ど知らなかつた、武藏國川越城の松平伊豆守信綱が、この月十八日に十六歳を一期として死去した事も知らなかつた、二十七日勘定頭の伊丹播磨守が、駿河の代官一色内蔵助に刃傷された評判の椿事も知らなかつた、知つてゐるのはこの月の末に、やゝ大きな地震が二度あつた事だけであ

るこの謹慎中に勝馬は浅草川の橋で、打ち落した五郎兵衛が所で貴殿は何をした』この言葉を思ひ出した『箱根所事件から絲を引いた、豈地を貰いただけの事だ。それとは違ふ』といひ返したが、勝馬の懲り破綻は、箱番所事件から絲を引いた、豈現れかも知れなかつた。『隣り屋敷との不和は、あれ一段埒があいたと思つてゐた實はさうでなかつたのか』

「當家では常に末々の些細な事で相わかつてをりますから、家中を調べるまでもなく、お家の事は前々のご返答の通り、ういふ者は當屋敷へは參つてりません」
手を代へて談判したが青山では存せぬ知らぬと飽まで突張つてゐる、もつとも之は青家が大久保家に対する復讐でやつたのだ、権六事件の前に青

An advertisement for 'CASA FOTOPTICA' featuring a stylized rooster logo above the word 'CASA'. Below 'CASA' are the words 'FOTOPTICA' in large, bold letters. Underneath the main title are five brand logos: 'Agfa', 'Kodak', 'Voigtländer', 'Hauff', and 'Zeiss Ikon'. At the bottom, the address 'SAO PAULO - RUA SAO BENTO, 45' is written.

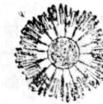
明治廿三年議會開設と其の軍凱歌の日に歌ひ、國家臣が死せるのに悲ましらず一と如何にも多感の養が彷彿とする。明治廿三年議會開設と其の軍凱歌の日に歌ひ、國家臣が死せるのに悲ましらず一と如何にも多感の養が彷彌する。いつも差押へを受け當時てよく遊びに來た尾崎行息子さんや今は時めく夫人等は執達吏の眞似なんだものだ、この債鬼英輔で宮島といふ人が専ら天を買つてゐたがどうも對しては固く辭して天下の形勢を説いて貪りにないものの如くであつて金錢に關しては不正に残さず清節五十年の政を諷はれる所以である。

DA PIXINOL
ル軟膏
の悪い皮膚病も
つて全治されます
右な薬店にあります)

當店にて受取りたる
日本金に換算可
書留料、其他
郵便爲替又は銀行
御送り被下度猶横濱
文取人へ送り届け申
郵便爲替又は銀行
差支無之候
金申込書は必ず忘れ
られなく候
六ヶ月以上 年四分二厘
六ヶ月以上 年四分
年三分
第直に御送り可
御間合被下度候
御指定相成候は

BANCO ESPECIE DE YOKOHAMA, LTD.

(THE YOKOHAMA SPECIE BANK, LTD)
Rua da Candelaria, No. 23
Caixa Postal 380 Rio de Janeiro



橫濱正金銀行

銀行支店